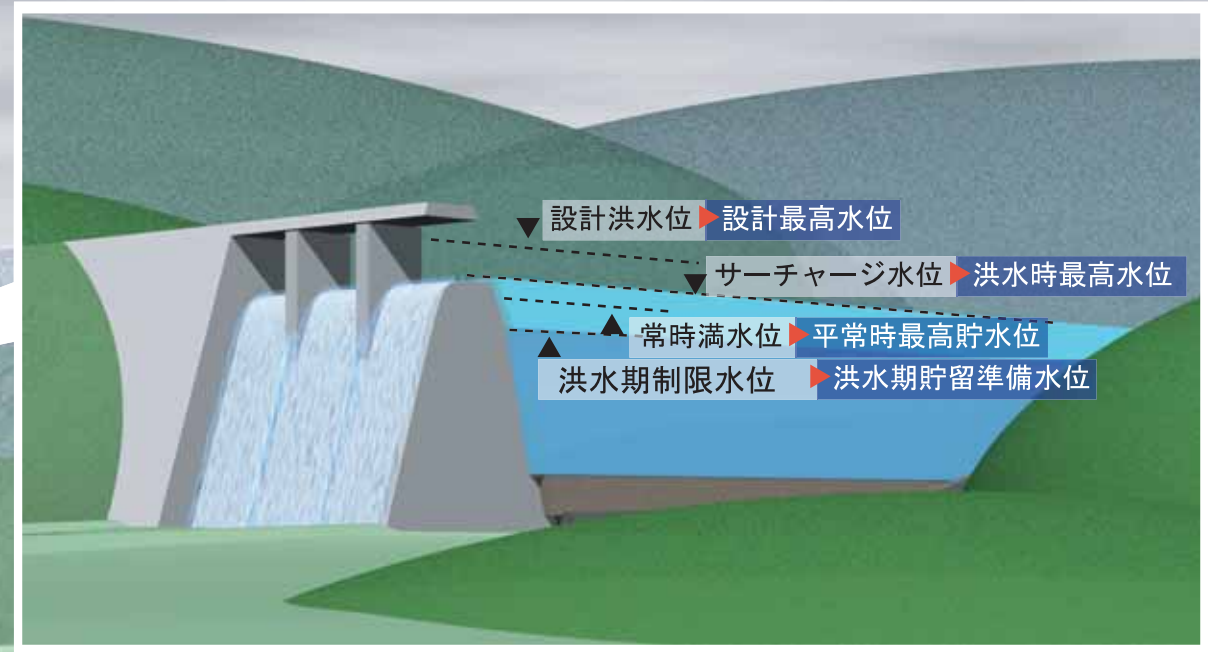


強雨域 ▶ 強い雨が降る範囲  
(○時間○○ミリ以上)

- 河川の洪水警報※ で用いる用語  
(※国土交通大臣等と気象庁長官が共同で個別の河川毎に行う洪水警報等)
- (○○川) 洪水情報 ▶ ○○川はん濫発生情報  
○○川はん濫危険情報
  - (○○川) 洪水警報 ▶ ○○川はん濫警戒情報
  - (○○川) 洪水注意報 ▶ ○○川はん濫注意情報



法崩れ ▶ 堤防斜面の崩れ

沿川 ▶ 川沿い

その他の改善を行う用語

- 既往最大流量 ▶ 過去最大流量
- 水防警報指定河川 ▶ 水防警報河川
- 水位情報周知河川 ▶ 水位周知河川
- 直轄区間 ▶ 国管理区間
- 指定区間 ▶ 県(都道府)管理区間

越水・溢水 ▶ ○○地区から水があふれる

堤外地・堤外 ▶ 堤防の川側(堤防より川側)

堤内地・堤内 ▶ 堤防の居住側(堤防より居住地側)

川表 ▶ 川側(川側)

川裏 ▶ 居住側(居住地側)

右岸 ▶ ○○市側

左岸 ▶ ○○市側

排水機場 ▶ 排水ポンプ場

樋門・樋管 ▶ (排・取)水門

欠壊 ▶ △△地区の堤防が一部流失(崩壊)

(堤防)天端 ▶ (堤防の)上端、上面

出水 ▶ 増水

破堤 ▶ ○○地区の堤防が決壊

法・法面 ▶ 堤防斜面

浸水・冠水 ▶ ○○地区が浸水

水位	レベル
はんらんの発生	5
計画高水位 危険水位	4 危険
特別警戒水位 避難判断水位	3 警戒
警戒水位 はんらん注意水位	2 注意
通報水位 水防団待機水位	1

高水敷 ▶ 河川敷

洗掘 ▶ 深掘れ

現行 ▶ 改善後



ちょうい

## 24. 潮位

潮位基準面から計った海水面の高さで、港湾に固有な振動や波浪の影響を除いたもの。

### 関連用語など

潮位基準面(関連用語)、東京湾平均海面(関連用語)

へいじょう(の)ちょうい

## 26. 平常(の)潮位

潮汐は主として月や太陽の引力等により生じる海面の昇降現象で、天体の運行に関する知識から予測することができる。このようにして予測した潮汐を天文潮という。注意報や警報文では、天文潮のことを平常潮位または平常の潮位とよぶ。

まんちょう・かんちょう

## 28. 満潮・干潮

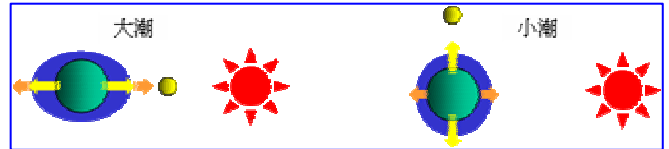
一日の潮位の変化のなかで、潮位が最も高くなった状態のことを満潮といい、最も低くなった状態のことを干潮という。通常それぞれ、一日に一回ないし二回ある。

おおしお

## 25. 大潮

干潮と満潮とで潮位の差が最も大きくなった状態のこと。地球と月と太陽の相対位置がほぼ直線状に並んだときにおこる。

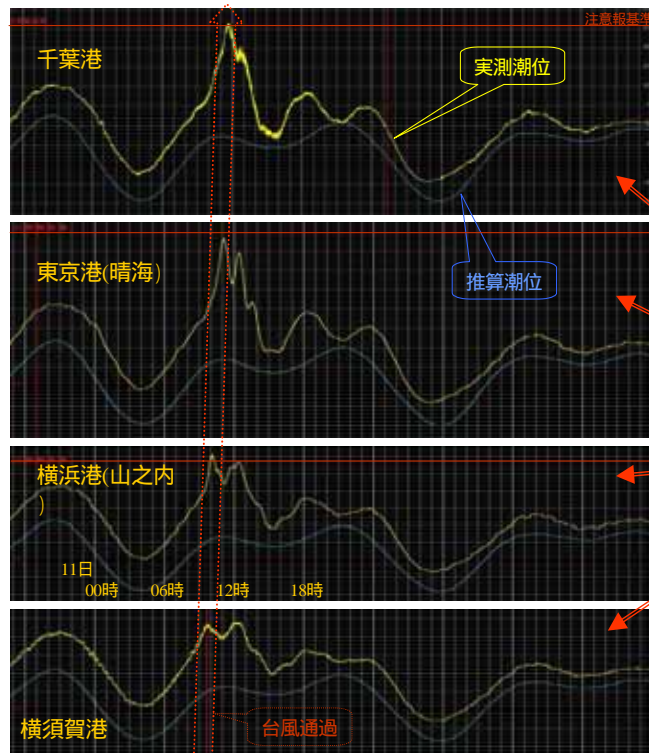
大潮時と小潮時の地球・月・太陽の位置関係模式図



たかしお

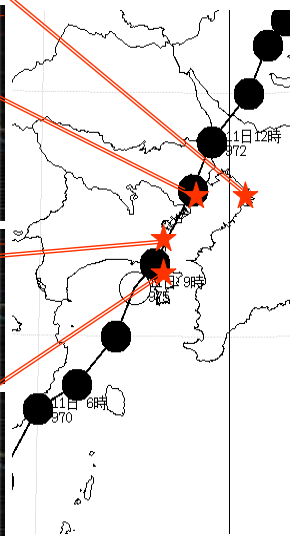
## 27. 高潮

台風や発達した低気圧に伴う気圧降下と強風等のため、天文潮に比べて海面が異常に上昇する現象。高潮の高さは、実際の潮位とその時刻の天文潮との差(潮位偏差)で表す。



## 台風による高潮の例

T0115 東京湾  
2001年9月11日



左図に2001年台風第15号の通過に伴う東京湾の各観測所での高潮の例を示す。台風の通過に伴って潮位のピークが2回現れていることに注目。このときの東京湾の満潮時刻は昼前頃だった。

### 用例

東京湾では、台風の接近に伴い、次第に潮位が上昇しつつあります。今後風が強まることで急速に潮位が上昇するおそれがあります。今日11時から12時頃にかけて高潮に注意してください。

浜通りの沿岸部では、今日15時から22時にかけて高潮に注意してください。今回の高潮は、東京湾平均海面上1メートル前後の見込みです。

小名浜港では 11日15時から11日22時にかけて注意  
満潮時刻 小名浜港19時58分、相馬港19時47分

### 注意ポイント

台風による高潮は、台風の進路や風速に大きく左右される。一般に、台風の進行方向の右側にあたる湾では風が吹き寄せるため潮位が高くなりやすい。また、上の図でもわかるように、台風中心が通過した後に再び潮位が高くなることがある。これは、港の形状や吹き返しの風などの影響によると考えられる。また、高潮は満潮時刻ではなくとも発生することに注意が必要である。

ふくしんどう

## 29. 副振動

港湾内など陸や堤防に囲まれた海域や海峡などで観測される海面が昇降する現象。数分から数10分程度の周期を持つものが多い。

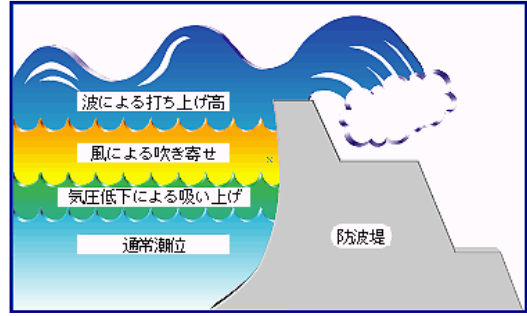
周期については、湾の形状や過去の記録などからある程度予測が可能だが、振幅については予測困難な場合が多い。通常、振幅は数cmから数十cmだが、2mを超えることもある。

### 注意ポイント

振幅の大きいものは、冬から春にかけて発生することが多い。大きな副振動により、港に係留した船舶が転覆したり低地で浸水被害が発生したことがある。

### 関連用語など

異常潮位、高潮および津波の違い



## 用例

[府県潮位情報の発表例]

異常潮位に関する情報 第5号

- 沖縄本島地方の異常潮位 -

平成13年8月16日14時30分 沖縄気象台発表

沖縄本島地方では、潮位偏差(平常潮位と実際の潮位の差)の高い状況が依然として続いています。

潮位偏差は先月と比較してやや小さくなったものの現在も平常より潮位が15センチから20センチ高い状態となっています。また、明日8月17日から23日にかけては大潮期にあたり平常潮位が高く、特に19日から21日の朝の満潮時は一年のうちで最も高くなることが予想されています。

このため、現在の状況が続けば先月下旬の大潮期(19日から25日)と同程度の潮位が予想されますので、海岸及び河口付近の低地では満潮時刻を中心に浸水等に注意が必要です。

なお、気象状況(台風の接近など)によっては更に潮位が高まることも考えられますので気象台の発表する情報や注意報に十分注意して下さい。

那覇におけるこれから数日間の満潮時刻と平常潮位(平均海面上の高さ)

8月17日 05時03分(86cm) 18時35分(83cm)

18日 05時57分(101cm) 19時17分(93cm)

那覇における先月下旬の大潮期における最高潮位(平均海面の高さ)

7月22日 07時45分ころ 135cm(潮位偏差23cm)

\* 実際観測される潮位(実測潮位)はこの平常潮位の値にその時点での偏差の分だけプラスした高さとなります。

いじょうちゅうい

## 30. 異常潮位

潮位が比較的長期間(1週間から3か月程度)継続して平常より高く(もしくは低く)なる現象。府県より広い範囲におよぶ。

原因として、同様な気圧配置が継続すること、黒潮の流れの変動、平年より海水温が高いことなどが挙げられている。

### 注意ポイント

特に潮位の高まる夏から秋にかけての大潮期に異常潮位が発生すると、浸水等の被害が生じ社会的な影響が大きくなる。

ちゅういじょうほう

## 31. 潮位情報

副振動と異常潮位に対しては、高潮注意報、高潮警報のほか、全般潮位情報、地方潮位情報、府県潮位情報を発表し、現況に関する情報の提供を行うとともに、注意をよびかけている。

種類	原因	周期または継続期間	影響範囲(水平スケール)	変位置(鉛直スケール)
異常潮位	長期間続く気圧配置や海流の変動など	継続期間: 1週間から3ヶ月	府県より広い範囲	~数10cm
副振動	気圧の振動など	周期: 数分から数10分 継続期間: 数時間から数日	湾~府県より広い範囲	~数m
高潮	台風や低気圧による気圧低下と強風による吹き寄せ効果	継続期間: 数分から数時間	湾~府県より広い範囲	~数m
津波	海底地震による地殻変動など	周期: 数10分から数時間 継続期間: 数時間から数日	湾~府県より広い範囲	~数10m

ちょういきじゅんめん

### 32. 潮位基準面

潮位を観測する基準となる面のこと。

あらかわこうじきじゅんめん (えーびー)

### 34. 荒川工事基準面 (AP)

潮位基準面の一つ。

TPを基準としたときAP = TP - 0.840mである。

へいきんちょうい (えむえすえる)

### 35. 平均潮位 (MSL)

それぞれの場所での平均潮位のこと。離島では、東京湾平均海面 (TP) と関連づけられない (水準測量で結ぶことが出来ない) ので、TP の代わりに現地の平均潮位 (MSL) を高潮警報や高潮注意報の基準に用いている。

とうきょうわんへいきんかいめん (ていーびー)

### 33. 東京湾平均海面 (TP)

潮位基準面の一つ。気象庁が発表する高潮警報や高潮注意報は、離島を除き東京湾平均海面 (TP) を潮位基準面としている。TP は海拔 0メートル (水準測量の原点) でもある。

用例

今回の高潮は、東京湾平均海面上 1メートル前後の見込みです。

うねり

### 36. うねり

遠くの台風などにより作られた波が伝わってきたもので、滑らかな波面を持ち、波長の長い規則的な波。波長が 100m 以上、周期が 8秒以上のものが多い。

用例

南海上の台風からのうねりが高くなる。

関連用語など

土用波

注意ポイント

太平洋の沿岸や南西諸島などでは 1000km 以上離れた台風からのうねりが到達することがあるので注意を要する。

ゆうぎはこう

### 39. 有義波高

ある地点で連続する波を観測したとき、波高の高い方から順に全体の 1/3 の個数の波 (例えば 20分間で 100個の波が観測されれば、大きい方の 33個の波) を選び、その波高を平均したもの。

さいだいはこう

### 40. 最大波高

観測された波の中で最大のもの。統計的に、100個の波を観測した時の最大波は有義波高の約 1.6倍、1,000個の波を観測した時の最大波は有義波高の約 2倍の高さになる。

はこう

### 37. 波高

波の頂上から谷までの高さ。

なみのたかさをあらわすようご

### 38. 波の高さを表す用語

気象庁が防災気象情報で用いる波の高さを表す用語と波高との対応は下表のとおり。

ここで、波高とは有義波高である。

用語	波高 (m)
おだやか	0から0.1まで
おだやかなほう	0.1をこえ0.5まで
多少波がある	0.5をこえ1.25まで
波がやや高い	1.25をこえ2.5まで
波が高い	2.5をこえ4まで
しける	4をこえ6まで
大しけ	6をこえ9まで
猛烈にしける	9をこえる

用例

台風第 15号は、29日夕方には奄美大島付近を通過する見込みです。このため、五島近海や豊後水道では 29日は大しけになる見込みです。

せつけいさいこうすいい

**199. 設計最高水位 (改善前 設計洪水水位)**

ダムのがんぜんせいがかんたれるさいこうのすいど。

こうずいじさいこうすいい

**200. 洪水時最高水位 (改善前 サーチャージ水位)**

つうじょう、こうすいじょうせうにしようするさいこうのすいど。

へいじょうじさいこうちよすいい

**201. 平常時最高貯水位 (改善前 常時満水位)**

へいじょうじにだむにたくめられるさいこうのすいど(かじりがでにしようされるじょうすいどうじょうすい、こうぎょうじょうすいなどのりすいりょうをふくむさいこうすいど)

こうずいちりゅうじゅんびすいい

**202. 洪水貯留準備水位 (改善前 洪水期制限水位)**

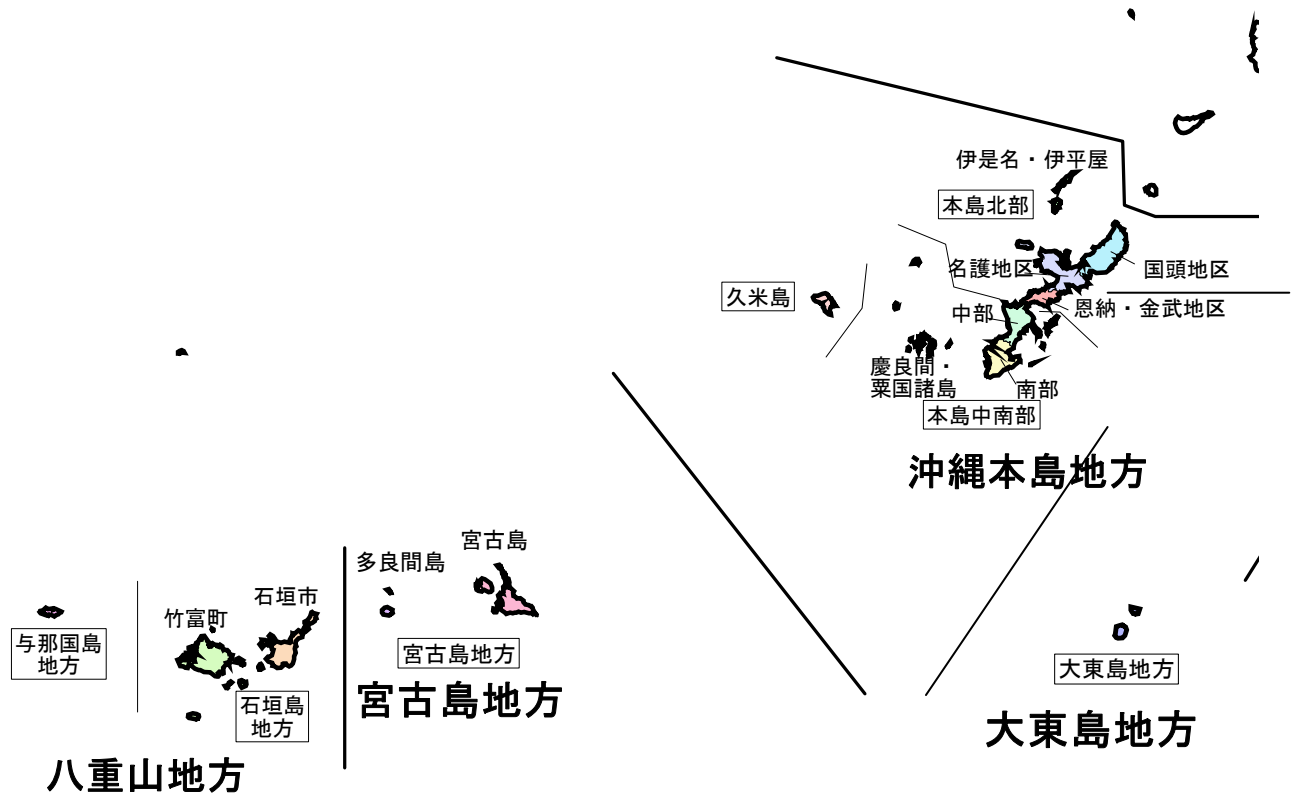
つゆりやたいふうなどによるこうすいにかんえ、こうすいじょうせうりょうをたかくんがためへいじょうじさいこうじゆすいどからつゆりまえにあるすいどまでていささせたすいど。

さいていすいい

**203. 最低水位**

たくめたすいをりすいにりようすることが出来るさいていすいど

# 沖縄気象台管轄地域の細分区域図（平成18年3月1日現在）



- : 一次細分区域名
- : 府県予報区境
- : 一次細分区域境
- 色分け : 二次細分区域境